



校長通信

No.25 令和3年3月19日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《学校保健委員会を開催しました》

3月15日（月）学校保健委員会を開催しました。平成20年に出された中央教育審議会答申によると、学校保健委員会は、学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織です。学校保健委員会は、校長、養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員などの教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、児童生徒、地域の保健関係機関の代表などを主な委員とし、保健主事が中心となって、運営することとされています。

河北中学校の保健委員会は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、育友会母親代表、校長、教頭、保健主事（体育主任）、養護教諭で構成されています。会議では、養護教諭から、本校の保健室の利用状況、健康診断の状況、身体測定の結果、虫歯の有無などの報告がありました。虫歯のない生徒数、虫歯があったが、虫歯の治療を済ませた生徒数が、数年前に比べて、多くなっていて、歯の健康面で改善状況が見られることが確認されました。昼食後、こまめに歯磨きをする生徒の姿をよく見かけますが、それらの成果もあったようです。歯の健康が学力・体力に大きな影響を与るとも言われています。虫歯のある生徒は、早い目に治療し、こまめな歯磨きを実行してもらいたいと思います。



会議の後半、校医の先生から、早起きの大切さについてお話がありました。朝は、1日の中で最も頭が冴え、集中力や思考力が高まるそうです。先生自身も、学生時代、朝早く起きて勉強をし、学力を伸ばされたそうです。各ご家庭でも、お子様が、夜遅く勉強するより、朝早くから勉強する習慣が身に着くよう、働きかけていただければと思います。



最後に、長年、本校の校医を務めていただいた北山健医院の北山先生が、今年度限りで勇退される旨、報告がありました。約30年、河北中学校の校医を引き受けてくださり、内科検診や生徒の健康面のご指導をいただきました。長い間、本当にありがとうございました。

The early bird catches the worm.（早起きの鳥は、虫をつかまえる）

早起きは三文の徳